

stories

広報 かわねほんちょう



「わたしも主役♪」

川根本町産業文化祭2008

2008.12月号▶目次

- 2▶町に一番活気があふれる日 ～産業文化祭フォトレポート～
 - 8▶役場の窓辺から パブリック・コメント募集ほか
 - 10▶まちの話題 町長表彰者紹介ほか
 - 12▶生涯学習のひろば
 - 13▶くらしの情報ページ
 - 14▶みんなの広場 生まれてくれてありがとうほか
 - 15▶緑のふるさと協力隊員奮闘記 千江の輪 NO. 7
 - 16▶学校レポートズコラム 川根高校2年 久保佳奈美さん
- 綴じ込み▶くらしのカレンダー

産業文化祭会場にて 友達とフワフワで遊んでいた榊原歩乃花ちゃん(水川)

2008

12

No.38

町に一番「活気」があふれる日

町民の町民による町民のための産業文化祭

秋晴れの下、川根本町産業文化祭が11月2日、役場本庁舎周辺を会場に開催された。特設ステージではちびっこたちの元気な発表や赤石太鼓の演奏、華麗な伝統芸能、空手教室の迫力ある演武などが繰り広げられ、来場者から大きな拍手が送られた。ステージ周辺ではシャボン玉ショーや盲導犬とのふれ合いに子どもたちが殺到、大きな声がこだました。20店以上が軒を連ねた出店ブースでは秋の味覚が所狭しと並び、午前中で売り切れる店が続出。多くの人舌鼓を打った。健康増進施設で開催された健康まつりでは、体力測定や各種ゲームが人気を呼び、人であふれかえった。晴天に恵まれ、町内外から多くの人を訪れた産業文化祭。その盛況ぶりをレポートする。



1



9



10



11



6



2



3



8



7



4

- 1 大勢の来場者がステージ発表を見つめる
- 2 ドライフラワー教室を開催。素敵なリースが出来ました
- 3 さゆり幼稚園園児。発表前の緊張のひととき
- 4 交通事故体験。時速5kmの衝突でもかなりの衝撃です
- 5 木工教室で来年の干支「牛」を作っています
- 6 森林組合の木工教室。どんな作品ができるかな
- 7 フェルトで作るわたしだけのペーパーウエイト
- 8 盲導犬とふれ合い楽しそうな親子
- 9 手揉み保存会による川根茶の手揉みも人気でした
- 10 健康まつり会場にて。体のバランスを測定中
- 11 グラウンドゴルフに挑戦。長蛇の列が



5

「孫と一緒に汁粉を食べて一休みしているところです」

今日は午前中から遊びに来ました。孫2人が午前中に体育館で開催された運動会に参加していたんです。それが終わったあと、2人を連れて会場内を見ながら楽しんでいます。この子たちは動物が好きで、盲導犬のコーナーが大のお気に入りでした。自分たちも犬が欲しくなりました。



白沢さかえさん・太田かなちゃん・もえちゃん
(上長尾)

「神楽を見たり飾りを作ったり、たくさん楽しみました」

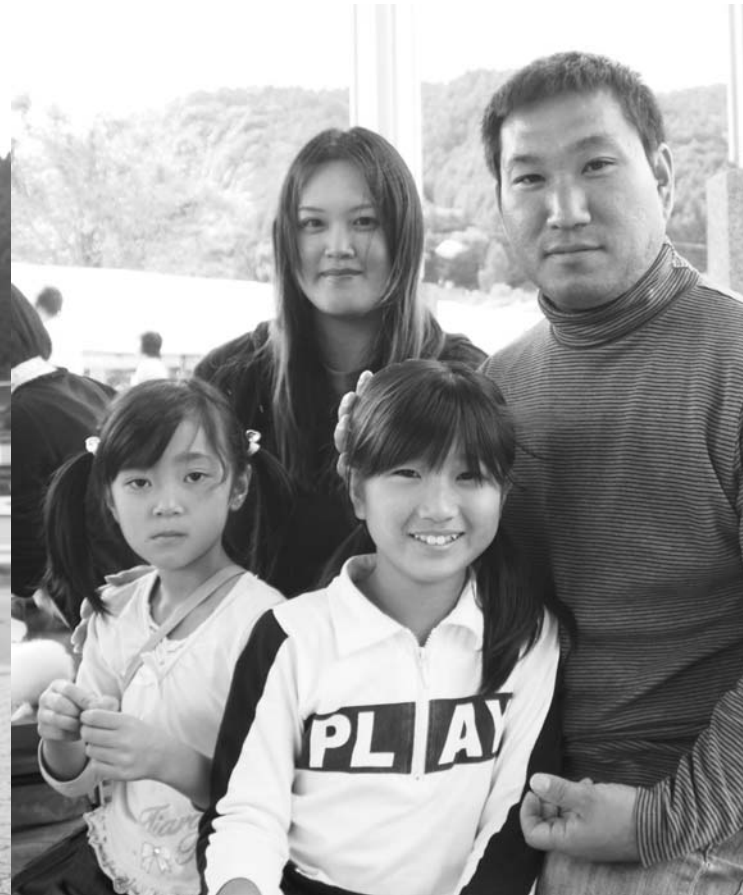
知り合いに誘われて、初めて川根本町に来ました。産業文化祭は大勢の人が楽しんでいてにぎやかですね。フェルトの飾りを作ったり、ステージでの古典芸能の神楽などを見てきました。昼食はみんなでやまめ弁当を食べました。初めての味でしたが、家族全員おいしくいただきましたよ。一日楽しませてもらいました。



あかね そら まい
赤堀 茜さん・空くん・舞ちゃん
(菊川市から)

「インターネットで文化祭のことを知り遊びに来ました」

島田市から家族で遊びに来ました。ちょうど姪っ子(美咲ちゃん)が遊びに来ていたので、どこか楽しそうなイベントがないかとインターネットで探していたところ、川根本町の産業文化祭があることを知りました。たくさん催しがあるみたいなので、会場内を回っているところです。



よしひろ あい あいな みさき
園田義宏さん・愛さん・愛菜ちゃん・美咲ちゃん
(島田市から)

「友達同士で毎年来ています。盲導犬がかわいかったです」

次にどこに行こうかと3人で相談しているところです。産業文化祭は毎年楽しみにしていて、友達同士で誘い合っています。盲導犬のコーナーを見てきましたが、ラブラドルレトリバーがすごくかわいかったです。うちもラブラドルを飼っているのですが、とても親近感がわきました。



りさ みゆ あやか
加藤里咲さん・山本美優さん・原田彩香さん
(高郷・徳山・徳山)



みんなが主役 産業文化祭2008

特設ステージで元気な演奏・合唱・演技を披露した皆さん

【さらに住民主体の産業文化祭に】



産業文化祭2008
実行委員長
佐藤公敏さん
Satou Kimitoshi

今回の産業文化祭は、天候に恵まれ、多くの方にお越しいただきました。新しい企画などもたくさんあり、これまでと少し変わったイベントとして楽しんでもらえたと思います。しかし、出店ブースが分散していて、来場者に分かりにくかったなど反省点もありました。来年に向けた課題もいくつか見えてきましたので、検討していきたいと思えます。まだまだ役場の手も借りなければならぬ部分も多々ありますが、これからだんだんと、住民が主導し、住民が創り上げる産業文化祭へと発展していきたいと思っています。たくさんのご来場ありがとうございました。

「か」に気付くことから始まります。来場してくれた人たちが、そんな心を持ち帰ってくれたならうれしいです。

この竹馬は、地域のお年寄りに作ってもらったものです。おじいちゃんたちが作った竹馬で、親子が一緒に遊ぶなんて、とても素敵なこと。いろいろな人を巻き込んで、いるな人が参加した産業文化祭。これこそが「みんなが主役のふるさとづくり」のあり方だと思えます。来てくれたみんなの笑顔や元気な声は何よりうれしかったのを覚えています。

イベントを通して、また新たな人の輪が広がっていく。来場者が参加者に、やがて一緒に創り上げる仲間になっていくんです。そんな大勢で楽しめるイベントとして定着していけばなあと思っています。この町には「やってみよう」や「やってみよう」と思う人がたくさんいます。でも、何をやっていいのか分からないから手を挙げにくいだけ。わたしたちが率先して手を挙げることで、今後「一緒にやってみよう」と思う人が出てくることを願っています。

川根本町の自然環境を大切にしたいという気持ちを、この文化祭で表わしたいと思っています。北海道や九州、沖縄など迫力ある大自然には包み込んでくれるような大らかでやさしい自然があります。この自然を後の世代までもつと伝えていきたいから。産業文化祭のテーマを「明るく楽しいエコ」としました。天ぷら油の回収や、エコロジックシャボン玉ショーなど、環境にやさしい、環境と共生したイベントを目指しました。エコは一人一人が「何ができる」という心があったから、来場者の皆さんにもその心が伝わったのではないかと思います。ある人が帰り際にかけた「楽しかったよ」という一言が何より心に残っています。

「産業文化祭は町民全員が主役になれる場所」と話す浜谷さん夫妻。役場主導ではない、本当の意味での「みんなが主役の産業文化祭」が、新たな一歩を踏み出した。

エコロジックシャボン玉ショー

地球温暖化に立ち向かうシャボン玉研究者が、実施するショー。ペットボトルや牛乳パック、チラシなどを「筒」として利用。唄や踊りに合わせてシャボン玉の楽しい実演を繰り広げ、来場者の興味をひいた。



手作りの竹馬で遊ぶ
会場に用意されたたくさんの竹馬は、すべて地元のお年寄りたちが作ってくれたもの。手作りならではの温もりが感じられる竹馬だった。一日中、親子や兄弟と一緒に遊んでいる姿が多く見られた。



(有)ピースアンドフリー
浜谷明彦さん・友子さん
Hamatani Akihiko・Tomoko

浜谷明彦さん・友子さん
2人の本業は明彦さんは建築業、友子さんは音楽教室の講師。家族ぐるみでイベントの企画や運営を楽しみたいと、(有)ピースアンドフリーを設立し各種イベントのプロデュースを手がける。本年度の産業文化祭の企画運営に参画。新しい催しも多く、来場者を楽しませた。

産業文化祭を

裏側から支える手

産業文化祭の各種催しは、実行委員会が実施するプレゼンテーションで決定したイベント会社が企画運営する。昨年まで町外の大手イベント会社が受注していたが、今年初めて浜谷さん夫妻(上長尾)の(有)ピースアンドフリーが受注。企画運営の中心を担った。長年実行委員として産業文化祭に関わってきた浜谷さん。その経験やノウハウを生かしたかったと話している。今年の産業文化祭の感想や今後の展望などを聞いた。

わたしたちは長年、実行委員として産業文化祭に関わってきました。また音楽教室の舞台発表などもさせてもらいました。そういった中で、ずっと疑問に感じていたのが「本町のことを何も知らない人が催しを企画運営する」ということでした。やはり自分たちの町の産業文化祭なんだから、自分たちが創り上げた。今度は自分たちが裏方に回り、産業文化祭を盛り上げたいと思ったんです。この催しを、どこにでもある「ありきたりなイベント」にしなかつたんです。



産業文化祭を裏側から支えたスタッフの皆さん

前列左から▶板谷隆輝さん、浜谷友子さん、浜谷明彦さん、梶原俊介さん 後列左から▶落合真由美さん、原亜沙美さん、榎原さつきさん、鈴木淳二さん
舞台設営や当日の進行など、イベント全般で活躍してくれた有志の皆さん。「この人たちの協力があったからこそ」と浜谷さんは話していました。

皆さんの意見を聞かせてください 補助金交付規則に関するパブリック・コメント募集

補助金等交付規則の改正に関するパブリック・コメントを募集します。

【川根本町補助金等交付規則】

改正趣旨

川根本町では、補助金の適正化についての方針を定め、すべての補助金について補助金交付要綱の見直しをしています。この見直しを実施するため、川根本町補助金等交付規則を改正します。

施行日時

平成21年4月1日から

改正案の内容

町税等の納税意欲の高揚と徴収に対する町民の信頼を確保するとともに町が交付する補助金の公平性を図るため、川根本町税条例第3条に規定する町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税・鉱産税・特別土地保有税、入湯税）、

パブリック・コメント募集

国民健康保険税、水道使用料、学校給食費、保育料、介護保険料および温泉使用料のうち、いずれかに滞納がある町費補助事業者等について、補助金などの交付を決定しないよう改正します。

補助金交付規則の改正に伴う各補助金交付申請書の改正

補助金等交付規則の改正に伴い、各補助金などの交付申請書を提出する際、補助金の交付決定審査のために納税等状況を調査することについての同意欄などを新たに設置します。

そのことにより町の税務課長に納税等状況の調査に同意するため、補助金等申請者等氏名（団体名）に記名押印が必要となります。公表など

お寄せいただいたご意見は、整理した上で公表しません（名前、住所などは公表しません）。ただし、ご意見

などを提出しようとする場合は、住所および氏名（法人その他の団体にあつては、所在地、名称および代表者氏名）などを明らかにしてください。また、個々のご意見には直接回答はできませんので、あらかじめご了承ください。

意見書様式の配布

意見書様式は、町ホームページに掲載してありますので、ダウンロードしてご利用ください。また様式は次の場所にも備えてあります【本庁総務課、総合支所管理課、文化会館窓口】。

募集期間

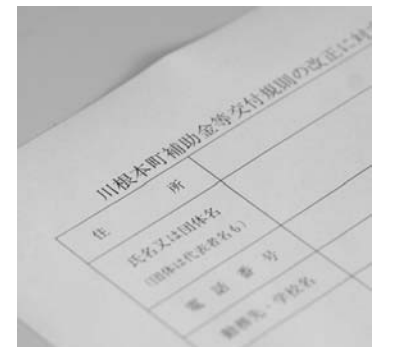
平成20年12月1日～平成20年12月31日

提出方法

ご意見などを記載した書面を持参、郵送、ファクシミリ。または電子メールにより提出（送付・送信）

提出先

本庁総務課財政係



意見書は町HPからダウンロードできます

〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾67番地
FAX 0547 (56) 2235
電子メール
soumu@town.kawaneho.nshizuoka.jp

※パブリックコメントとは町の基本的な政策などを策定するとき、その策定しようとする政策などの趣旨・目的・内容など必要事項を広く公表し、それに対して町民の皆さんからご意見などをいただきます。この意見などを考慮し、最終的な意思決定をして、またご意見などの概要およびこれに対する町の考え方などを公表します。この一連の手続きのことをいいます。

総合支所企画観光課 ☎(58) 7077 まちづくり観光協会 ☎(59) 2746

皆さんの参加をお待ちしています エコツアーリズム 積極的に活動中です

最近の活動を紹介します

川根本町エコツアーリズムネットワークは10月25日、小学校4から6年生を対象に子供達のアウトドア体験教室「わんぱくセミナー」を開きました。26日には一般の人を対象に、エコツアー「紅葉の蕎麦粒山ハイクと蕎麦粉のパンケーキ作り」を開催しました。

わんぱくセミナーには町内外から14人の小学生が参加しました。エコツアーには9人が参加、遠く東京や千葉から参加した人もいました。どの参加者も楽しい1日を満喫した様子です。



わんぱくセミナー



人よりも太いブナの木

一緒に活動をしませんか

今年3月の設立以来、8月に国指定重要無形民俗文化財「徳山の盆踊」見学ツアーの開催や、本町の自然や歴史、癒しや食に関する勉強会を積極的に開催しています。今後も町内さまざまな場所でのエコツアー開催を計画するなど、地域の魅力にふれながら、環境保全・観光振興・心身の癒しにつながるエコツアーリズムに取り組みしていきます。これらの活動に興味があり、入会を希望される人は、総合支所企画観光課またはまちづくり観光協会へお問い合わせください。

経済産業省からお知らせします

工業統計調査にご協力ください

製造事業所を対象とした平成20年工業統計調査を12月31日現在で実施します。調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料として利用され、また、企業、大学などの研究資料、学校の教材などにも利用されています。調査の実施に

当たっては本年12月から来年1月にかけて調査員が町内各事業所に伺います。調査票にご記入いただいた内容は、統計法に基づき秘密が厳守されますので正確なご記入をお願いします。
http://www.meti.go.jp/statistics/
本庁企画環境課 ☎(56) 2221

農地・水・環境保全向上対策事業

瀬平地区が本町5地区目の調印

農地・農業用水などの資源を地域ぐるみで保全する団体を支援する国の助成制度「農地・水・環境保全向上対策事業」で、川根本町と瀬平地区「瀬平けっこにせつ会」は10月20日、役場本庁で協定書を取り交わしました。

今回の協定締結で地名・久野脇・徳山・久保尾に瀬

平を加えた5地区が、活動に取り組みことになりました。



がっちりと握手を交わす瀬平区役員の皆さんと杉山町長

土木一式・解体工事・植栽工事

ISO9001 認証取得

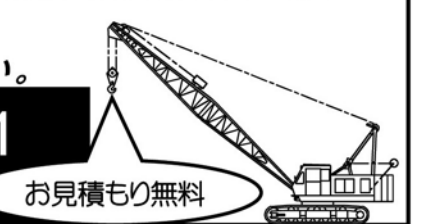


代表取締役：梶山 博 住所：川根本町元藤川 373-3 電話：0547-57-2525 FAX：0547-57-2167

・伐採木・剪定枝葉・竹等の処分いたします。川根本町指定一般廃棄物処分業（木くず）
・解体工事、敷地造成工事、その他土木工事
・樹木伐採、竹林整備、茶園改植 お気軽にお問い合わせ下さい。

徳山建設株式会社 TEL (57) 2321

川根本町徳山793番地 URL http://www.toku-ken.co.jp



お見積り無料



本川根小学校児童の息の合った合唱

ホヌホヌガールズのフラダンス

文化の花を咲かせましょう

年に一度の晴れ舞台「芸能音楽発表会」

町内の文化芸能グループなどが日頃の練習成果を発表し合う芸能音楽発表会が10月26日、文化会館で開催されました。

地域住民の交流とふれ合いの場を創造し、またそれぞれの個人・団体が一年間の練習の成果を発表する場として開催されるこの町最大の文化芸能の発表会です。

当日出演した個人・団体は計22グループ。どの参加者も日頃から熱心に練習してきており、ステージの上で息の合った演技や踊り、軽やかな歌声が会場内を包み込みました。来場者からは、1曲ごとに大きな拍手が送られていました。

出演個人・団体（敬称略）：中川根南部小学校、本川根中学校、中川根第一小学校、コーラスリベルテ、本川根小学校、中央小学校、ヤマハ音楽教室、さゆり幼稚園、中川根中学校音楽部、大正琴深山教室、中川根友銭会、小藪雅子、箏曲藤弦会、芳春会、ホヌホヌガールズ、中川根語り部の会話楽座、坂本亜由美、和楽会銭太鼓、どんぐりカラオケ愛好会、Fit-A静岡ピュア、佐藤守子、中村英子、中村さだ子、赤石太鼓保存会



たくさんのお店が軒を連ねました

本町の歴史や文化を学ぼう

千年の学校第7期学び舎がスタート

7年目を迎えた、地域の歴史や文化を学ぶ講座「千年の学校」。11月1日、奥大井休養村管理センターで開催された開講式には30人の学生が出席しました。式では第7期代表の鈴木信子さんが「わたしはこの町が好きだけど知らないこともたくさんある。この学校を通してもっとこの町を好きになり、町外に向けて自慢できるようにしたい」と誓いの言葉を述べました。本年度の内容は、農業や林業の体験、地域の伝統芸能を学ぶなど、年間通じて多彩な講座を予定しています。



千年の学校開講式 代表の言葉を述べる鈴木信子さん

奥大井ふるさと祭り盛大に

多彩な催しを来場者が満喫しました

奥大井ふるさと祭り実行委員会が主催する奥大井ふるさと祭りが11月15日、音戯の郷特設会場で開催され、多くの来場者でにぎわいました。秋の味覚満載の物産展には、もみじ弁当、やまめ塩焼き、大根そば、豚汁など山の幸や地場産品が並びました。この他にも、お茶の手揉み体験や、つるかご作り、木工工作などの体験コーナーも設置され、人気を呼んでいました。

ステージでは、赤石太鼓の演奏や梅津神楽、二胡演奏、大道芸、餅投げ大会など、多彩な催しが繰り広げられ、来場者は秋の一日を心ゆくまで満喫しました。

年末売り出し抽選会

期間 12月20日土～

抽選券は数に限りがあります。各商店抽選券がなくなりしだい終了とさせていただきます。



町の「花・木・鳥」

町のシンボルが決定しました

町の花 シロヤシオ
大札山・蕎麦粒山から尾根沿いの黒法師岳にいたるまで群生しています。別名ゴヨウツツジとも呼ばれています。毎年5月下旬から6月上旬まで純白で清楚な花をつけます。皇族の敬宮愛子様の「お印」の花です。

町の鳥 ヤマセミ
大井川の本流、支流の清流域に生息し、早朝や夕方を中心に餌の溪流魚などを獲りに出かけます。自然環境のバロメーターです。



ヤマセミ



ブナ



シロヤシオ

これからの本町のさらなる伸展のシンボルとする「花・木・鳥」を制定しました。9月から10月の期間、町民の皆さんから195通の応募をいただき、その結果をもとに決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

町長表彰

長年の功績をたたえて

川根本町長表彰8人が受賞

11月2日、産業文化祭のステージ上で本年度の川根本町長表彰の表彰式が挙行されました。

町の産業や福祉の向上に貢献された人に贈られる賞で、本年度は8人が受賞されました。おめでとうございます。

受賞者の紹介（敬称略）

【産業功労】
渡邊 久（72歳・八中）

多年にわたり、元中川根町農林業センター運営委員として地域農業の振興発展に努め、また指導者として今日の産地化に多大な貢献をした。

【民生福祉功労】
山本 亘一（77歳・奥泉）
森永好子（75歳・青部）
西村和治（75歳・小長井）
村雲辰次（72歳・大谷）



写真左から 渡邊久さん、山本亘一さん、森永好子さん、西村和治さん、村雲辰次さん、竹本睦さん、松下享さん、春澤規雄さん

竹本 睦（62歳・瀬平）
松下 享（77歳・瀬平）
春澤規雄（74歳・下長尾）

多年にわたり元民生・児童委員として援助や自立の必要な家庭の保護指導、児童の健全育成などに努め、福祉の増進と民生の安定に多大な貢献をした。

茶娘ちゃんカード会 ☎ (56) 0231

加盟店で、500円お買い上げごとに抽選券を1枚プレゼント！
抽選でポイント50,000円などが当たります。
詳しくは12月18日の新聞折込をごらんください。

抽選番号発表
1月15日新聞折込で発表



『お茶刈機のお手入れ（格納時）方法、参考にしてください』

グリス注入→エンジン始動・刃を動かす（5秒程度）→本機を洗う（エンジンを上にして）→乾燥→エンジン始動・刃を動かす（2分程度）→燃料を抜く（タンク・キャブ共）→終了です

農機具の購入・修理・改造など、お気軽に相談してください。地域のお店だからこそ、ていねいに分かりやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
I P 電話 ☎050-3363-2252
☎56-0006
☎56-0009

石原良純氏ふれあい講演
2月8日回を開催します
—中部電力㈱・企画環境課から—



日時 平成21年2月8日 日
会場 文化会館
開場 午後1時（講演：1時30分～）
講師 石原良純氏 演題 空を見よう
申し込み方法
①郵便はがき、②インターネットから、
③応募箱（本庁・総合支所・文化会館備え付け）による

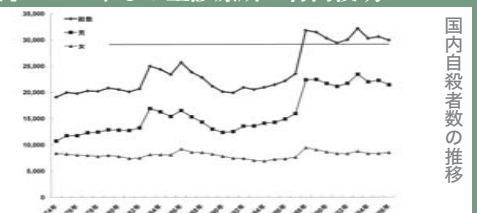
申し込み締切 平成21年1月9日 金
※詳しい内容は、12月上旬に各戸配布するチラシをご覧ください。
※町ホームページにも概要を掲載予定
【問】（土日祝除く・8:30～17:00）
本庁企画環境課 ☎（56）2221
中部電力㈱静岡支店広報グループ
☎054（273）9004

土地の境界に関すること
気軽に相談してください
—県土地家屋調査士会から—

県土地家屋調査士会では毎月土地境界に関する何でも相談を実施しています。気軽にご相談ください。
内容 土地境界に関する何でも相談
日時 毎月第2火曜日（祝祭日を除く）
午後1時30分～午後4時30分
場所 ベガサート（静岡市）
【問】静岡県土地家屋調査士会
☎054（282）0910（事前に電話要）

心のコラム

—川根本町自殺予防対策チームから—
健康増進課 ☎（56）2224 保健福祉課 ☎（58）7071 いやしの里診療所 ☎（59）2102
日本における自殺者は11年連続で3万人を突破し続けています。特に40代から60代の働き盛りの男性に増えています。静岡県の市町の中で、本町は自殺率（自殺者数/人口）が高い状態が続いており、ここ数年間毎年平均4人の方が自ら命を絶っています。「自殺で大切な命を絶つ人が一人でも減るように」との願いを込め、今年4月から町を挙げて自殺予防活動に取り組んでいます。表題の「川根本町自殺予防対策チーム」というのは、自殺予防活動を企画・実行する組織で、澤本副町長が会長で、本庁健康増進課、総合支所保健福祉課、いやしの里診療所などの職員で組織され、定期的に会合を開いています。この組織では、1次予防（自殺予防の周知）、2次予防（うつ発見・治療）、3次予防（自死【殺】遺族のケア）などの自殺予防に関する活動を総合的に実施します。川根本町の自殺者を減らすために、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。
いやしの里診療所 竹内俊明



お誕生おめでとう

氏名	地区	性別	保護者
新智也	徳山	男	利昭

ご結婚おめでとう

地区	氏名	前住所
梅高	渡邊 祐一郎	梅高
	田 畑 治 美	島田市
下長尾	藤 森 真 輔	高郷
	椎 野 舞	地名
瀬平	藤 田 友 弘	瀬平
	佐 藤 千 晶	島田市
久保尾	柿 本 崇 典	久保尾
	大 橋 美 貴	焼津市
徳山	山 本 俊 明	徳山
	問 立 香	中国

お悔やみ申し上げます

氏名	享年	地区	届出人
森越猪補	85	上岸	章裕
櫻井兼三郎	74	前山	光代
田畑志う	94	柳三	富徳
太田 昭	81	上長尾	重明
竹中いせ子	74	梅高	宏
小澤清子	65	梅高	敏文
小林壽朗	66	下長尾	康章
御倉静香	22	地名	济
吉川やす	83	徳山	秀代
中尾良巳	91	徳山	人巳

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。



スズキ自動車無料点検キャンペーン（10月～12月）
およびリコール部品交換は、技術自慢の当社へお任せください

川根自動車株式会社

川根本町上長尾 869-2 TEL: 0547 (56) 0150

生涯学習先進地視察研修

生涯学習推進委員24人が参加し10月19・20日の2日間、滋賀県で先進地視察研修を実施しました。長浜市での「ながはまアムニティ会議」の取り組みを研修したり、近江商人の町並み・伝統的建造物群保存地区の八幡堀視察などを実施しました。長浜市は滋賀県の東北部、東に伊吹山系の山々、西に琵琶湖が広がる歴史的な魅力に溢れたまちとして有名で、すぐれた歴史的文化遺産を有しています。研修会では、長浜市の歴史や「ながはまアムニティ会議」の取り組みについて、結成当時から携わってきた人に話を聞きました。その後、米川支流や黒壁スクエアを見学。古くから伝わる歴史と文化を誇りとして、後世に残していこうという住民の熱意が感じられ、充実した視察研修になりました。



カヌーチャレンジスラローム大会を開催（川根本町カヌー競技実行委員会）

「カヌーチャレンジスラローム大会」が10月12日、奥大井八木カヌー競技場にて開催されました。出場者は総勢49人。その中には、山口県や神奈川県など遠方からのエントリーもありました。町内からは本川根中、中川根中のカヌー選択授業の生徒21人が出場。生徒たちは今年5月から、プールでカヌー基本操作を学び、大井川での川下りなど、たくさんの練習を積んできました。大会では、どの出場選手も日頃の練習の成果を発揮し、迫力あるパドルさばきを見せていました。



- 6日 第9回静岡県市町村対抗駅伝競走大会
10日 トレーニング講習会（B&G海洋センター19:30～）
13日 第14回かわねほんちようスポーツクラブ
ミュージカル「不思議の国のアリスのマッチ売り」午後2時～
14日 ふるさと発見団特別編
「つる籠と追羽根をつかって、獣の毛で書道をしよう！」
20日 第15回かわねほんちようスポーツクラブ
町民ギャラリー ▶ 川根高校 南麓展（書道・美術）
文化会館展示コーナー ▶ 税の習字作品展

今月の予定・展示

本年度の町民読書感想文・感想画コンクールは、782点の作品の応募がありました。その中から69点の作品が入賞しました。受賞者を紹介します。（敬称略）

- 【感想文 小学生低学年の部】特選▶中村陽南（本小1年）、山本愛佳（第一小2年）、大村拓夢（本小2年） 入選▶小玉雄哉（中央小1年）、上中真菜実（第一小1年）、川畑夏輝（本小1年）、藤田匠（南部小2年）、澤口一輝（中央小2年）、中村恒和（第一小2年）、杉本菜々穂（本小2年）
【感想文 小学生中学年の部】特選▶鈴木綾馬（本小3年）、秋元宏太（第一小4年） 入選▶小澤樹（中央小3年）、鈴木希望（第一小3年）、服部央河（本小3年）、山下素弘（本小3年）、小澤知佳（南部小4年）、蘭田久実（中央小4年）、工藤黎（第一小4年）、内藤響貴（第一小4年）
【感想文 小学生高学年の部】特選▶河野美里（南部小5年）、栗田紗江（本小5年）、前川裕音（本小6年） 入選▶梶山龍（第一小5年）、山下翔太（第一小5年）、山下詩織（南部小6年）、鈴木ほのか（中央小6年）、藤森千裕（中央小6年）、中村祐真（第一小6年）、坂下くるみ（本小6年）、杉本竜暉（本小6年）
【感想文 中学生の部】特選▶山本美優（中中1年）、藤原結衣（中中1年）、松本菜都子（中中2年）、山下莉奈（中中3年） 入選▶塩崎彩織（中中1年）、太田涼子（中中1年）、松永真夢（中中1年）、武村望海（本中1年）、森下真衣（本中1年）、宮上里紗（中中2年）、佐々木ゆみ（中中2年）、池本賢太（本中2年）、中村慎（本中2年）、藤田奈穂（中中3年）、糟谷誠吾（本中3年）
【感想文 高校生・一般の部】特選▶小澤理沙（川根高3年） 入選▶川本麗奈（川根高1年）、池田衣里（川根高3年）
【感想画 小学生低学年の部】特選▶中村唯香（第一小1年）、小林実奈（南部小2年） 入選▶山本芽衣（第一小1年）、澤本太河（中央小1年）、石川想大（本小2年）、小澤飛来（第一小2年）鈴木鷹（中央小2年）勝山明日香（南部小2年）
【感想画 小学生中学年の部】特選▶小澤麻里奈（南部小4年） 入選▶山本夏波（本小3年）、加藤大雅（中央小3年）、石原愛澄美（本小4年）、蘭田久実（中央小4年）
【感想画 小学生高学年の部】特選▶小林竜也（南部小5年）、梶山真琴（南部小6年） 入選▶橋本美優（南部小5年）、植村佳織（南部小5年）、森隆弥（南部小6年）
【感想画 中学生の部】特選▶榎田真季（本中2年） 入選▶武村望海（本中1年）

本小=本川根小学校、第一小=中川根第一小学校、中央小=中央小学校、南部小=中川根南部小学校、本中=本川根中学校、中中=中川根中学校、川根高=川根高等学校

入賞おめでとう！ 第3回町民読書感想文・感想画コンクール

どんな小さな仕事でもお気軽にご相談ください！

- ・土木一式
- ・敷地造成
- ・農道
- ・外構一式
- ・小さな補修も承ります

小林建設有限公司

川根本町下長尾 336 TEL: 56-0161

あけぼの 2008年もラスト1ヶ月！！ 全力で頑張ります！ 新年会受付中 2009年もお客様に喜んでいただけるよう、チャレンジして行きます！ 定休日 毎週月曜日 第3火曜日 http://plaza.across.or.jp/~akebono

みんなの広場

My Home Town Kawanehoncho

ハガキ：〒428-0313 上長尾627 ファクス：(56) 2235
ホームページ：http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp

お便り・作品を大募集 役場広報までどうぞ



杉山詩緒里ちゃん 平成19年11月7日生
父：実 母：祐加 地区：平栗

しーちゃん！
ハ〜1歳になったなあ(^o^)
これから、じーじみたいに、どえらい明るく元気に育ってくりよ〜よ！



村松明美ちゃん 平成19年11月12日生
父：明 母：久美子 地区：接岨

明美お誕生日おめでとう！！
パパ、ママ、じいじ、ばあば、ねーね、にーにの大家族の中で、にぎやかに元気にすくすくたくましく育ったね。これからも楽しく過ごそうね。



福門飛磨くん 平成19年11月14日生
父：雅之 母：秀美 地区：地名

ひゅうくん1歳のお誕生日おめでとう。ひゅうくんの笑顔にいつも癒されています。大好きなねえねの後を頑張って追いかける姿がとってもかわいいです。いっぱい食べて元気に大きくなってね。

生まれてくれて ありがとう

〜1歳になったばかりのお友だちを紹介します〜

▼お詫び

先月号（11月号）の広報かわねほんちようの広告欄に誤りがありました。島田眼科クリニック様の「眼科」が「眼下」になっていました。これは広報編集時に発生した誤りです。関係者の皆様にご迷惑おかけして、本当に申し訳ありませんでした。

▼編集後記

先月で特集した「川根茶」。発行後、たくさんの方の反響をいただき、勇気もらいました。ありがとうございました。小笠原聡

山に囲まれたこの町にいると紅葉の進む速さが手に取るようにわかります。こちらに来たときは桜が咲いていたのにあつという間に今年最後の千江の輪になりました。わたしの知人に「移動箸屋」さんをやっている方がいて、わたしもマイ箸をいただきました。でも持っているだけでエコな気分になり、実はあまり使っていないです。森林を守るために木を切つてはいけなから使い捨ての割り箸は良くない、その程度のわたしのマイ箸運動ですが、白羽山羽ばたきの森の下刈りをしたり、雨で中止にはなりませんが、木の植樹をする中で、山を見上げればスギ、ヒノキの多さが分かります。やはり木は大切にしなければ」と思い直して見学に行った時、間伐材はそ

のまま放置されると聞き、木は余っているのか足りないのか、これで割り箸を作ればいいのにと単純に思っていました。森林を守るために間伐が必要だということ、でもコストがかかりすぎて木材として使えないなどの話を聞いて何も知らない自分が少しショックでした。でもわたしにもできることがないかと考えるきっかけになりました。最近木製ベンチや木製コースターなど木に触れる機会があり、改めて木製品の良さを再発見しています。「金属で作ったものはその時から劣化していくが木製品は育っていく」。こんな素敵な話をしてくれる方もいました。

旅行先で食事をしたときの箸袋や旅館の名前が入ったタオルを持って帰りたいかなるわたしですが、川根本町に旅行に来て使った割り箸に「水と森の番人」なんて書いてあったら間違いなく思い出の品として持って帰ります。でもかなりの高級箸になってしまいますね。...

緑のふるさと協力隊員奮闘記

ちえのわ 千江の輪。

chie's ring

NO.7



中野千江（なかのちえ）

北海道札幌市出身
緑のふるさと協力隊員第15期生
一緑のふるさと協力隊とは
特定非営利活動法人地球緑化センターが実施している事業の一つ。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣し、地域の活性化に貢献している。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、地域全体のための協力活動に取り組んでいる。千江さんは第15期生、川根本町2代目の隊員。



山男の伐採作業のりりしい姿

今月の千江's SHOT

産地直送品
一流メーカー特選品

全国無料宅配！ 11月20日より



お歳暮は感謝を結びます

最大 30%引き！ ギフトセンター 文化堂 TEL 56-0245

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。
ご予約は電話にてお願いします。
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9
島田駅から徒歩1分
☎0547-37-0431
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜、第2・第4日曜日)



学校
レポーターズ
コラム

10月21日に実施された学校林作業の様子

学校林作業に参加して

川根高等学校2年 久保佳奈美

学校林作業に対して、最初は少し面倒だと感じていた。作業するためには、その場所まで登山する必要がある。登山なんて中学校で一度体験したきり。登山経験が乏しいわたしは、すでに最初の段階で少しばかり不安を抱いていた。当然のことながら、行きはすべて急な上り坂に行くことになる。一歩を踏み出した重みが足全体に伝わり、その大変さを感じた。そんな調子で一時間半の登山を終えた後、少しの休憩をはさんで、本日のメインイベントの学校林作業を開始した。

説明を聞く限りでは「簡単そうだ」などという思いがしたが、それは大きな間違いだった。作業はわたしの思った以上に難航した。まず、のこぎりの使い方が難しいということを実感した。のこぎりとは引くときに力を入れなければ刃が進まないし、注意しなければ斜めに切れてしまう。斜め45度に切り口を入れる作業もあったが、それも難しく、最初の一切りが斜め

になっていたわたしたちの切り方ではなかなか切り終えることができず大変な思いをした。ようやくすべての切り口を入れることができたかと思えば、次は木を倒すのが問題だった。別の木にひっかかってしまい倒すことが出来なかった。仕方なく、危険な方法ではあるけれど、ひっかかった木を切って倒した。このとき「これは一番やってはいけない方法だ」と注意された。一歩間違えば命を落とす可能性があるのだそうだ。林業にそんな命を危険にさらす場面があるとは知らず驚いた。考えてみれば、川根地区の経済を支えるものの一つである「林業」について、わたしが知っていることは少ない。今回の体験で、林業という職業について知ることができ、その大切さも学べた。そのことをずっと忘れずにいたい。



川根本町の人口			
平成20年11月1日現在			
世帯数	3,103 世帯(-1) [55]	出生	2人【 】
総人口	8,869 人(-15) [76]	死亡	12人【 】
男性	4,341 人(-11) [22]	転入	17人【 】
女性	4,528 人(-4) [54]	転出	22人【 】

※ () 内は前月比、【 】 内は外国人数、右欄は今月中の異動
※外国人の数を含む

今月の納期
本庁税務課
☎ (56) 2223

- 固定資産税 第3期分
- 国健康保険税 第9期分

納期限は、1月5日です。口座振替の人は1月5日に引き落とされますので、残高のご確認をお願いします。